

令和5年度各地域会議の事業概要

地域課題	事業名	事業内容	主な協力者	成果・課題
その他	【継続事業】 芳野地域会議通信発行	芳野地域会議の存在及び活動内容を広く地域住民に広報した。		芳野地域会議の存在及び活動内容を地域の皆さんに知ってもらうことができた。
防犯対策	【新規事業】 古谷地区「地域の目」強化促進事業	地域を見守るみんなの目として地域会議のぼり旗「地域の目」を作成し、エリア全体に設置。また、地域防犯講習会では巧妙化する犯罪手法を学んだ。	川越警察署	地域が一体となり犯罪を寄せ付けない地域であることをアピールすることができた。
子育て支援	【継続事業】 子育てカフェ	主に未就園児を持つ母親同士の交流と、ボランティアと気軽に子育てについて話せる場を提供した。		保護者が自由に交流し、子どもを自由に遊ばせることで、保護者や子どもの仲間作りに寄与した。 また、スタッフに子育てに関して相談したり、情報交換することで、育児に係る支援ができた。
子育て支援	【継続事業】 0歳からのコンサート in みなみふるや	乳幼児を持つ子育て世代が気兼ねなく参加できるコンサートを開催した。	地域内の音楽大学	親子で音楽を楽しむことができ、また、地域とのつながりを持つきっかけとなった。
子育て支援	【継続事業】 にしいう文庫	子育て支援部会が中心となり、毎月2回南古谷公民館でミニ図書館を開催。親子で自由に絵本と触れ合う場を提供。また、貸し出しも行った。		多忙で親が子どもと関わる時間が減っている状況の中、親が子どもたちに絵本を読み聞かせ、親子が触れ合う時間を作ることができた。
青少年育成	【継続事業】 あいさつ運動推進事業	地域内小中高校から募集した「あいさつ運動」の標語を使用した横のぼりを作成し、地域住民同士のつながり・ふれあいの機運を高める。また、あいさつ運動の一環として高階地区あいさつ運動展を開催した。	高階・高階南小学校、寺尾中学校、川越初雁高校	地区内に200枚の横のぼりを設置し「あいさつ運動」の機運を高めた。また、あいさつ運動展では、高階地区の小中高校の取組を紹介するとともに、あいさつ運動の啓発が図れた。
健康・福祉	【新規事業】 高階いきいきフェスタ	参加対象を「どなたでも」とし、健康相談、乳児・育児相談、介護相談、血管年齢測定等、福祉施設製品販売、輪投げ、頭の体操、ポッチャ、エススポーツなどを行った。	地区保健推進員 地区民児協	「また、来年も参加したいです」などの声があり、好評だった。 子ども・乳児のいる親向けの催しの参加者が少なかったため、その年代にアピールできるよう検討していきたい。
防犯対策	【新規事業】 自転車盗難防止キャンペーン (新河岸駅周辺)	自転車盗難防止とヘルメット着用を目的にチラシとチェーンロック等を配布し啓発を行った。	川越警察署	高校生が帰宅すると思われる時刻に合わせてキャンペーンを実施。成人も含めて190人にツーロック推奨とヘルメット着用をアピールすることができた。 キャンペーンの周知方法と開催時期の見直しが必要である。
交通安全	【新規事業】 自転車マナー教室	地域住民により近いところで交通安全を学ぶため、公園や公共広場を会場として開催した。	川越警察署	2日間の開催で30人以上が参加した。自治会長を通して地域のグループに直接声を掛けたことで効果的に実施することができた。 開催方法などを引き続き検討していく。
青少年育成	【継続事業】 夏休み勉強会	夏休みの子どもたちの居場所づくりと学習習慣を身につけるため、勉強会を実施した。夏休み勉強会の一環として、屋内の学習から外へ出かけて見聞を広める施設見学ツアーを実施した。	地域の学習ボランティア、市立川越高等学校、地区子どもサポート委員会	「夏休みに、家で1人で過ごす子どもたちに宿題支援を」という当初の課題に対して、地域の保護者からも一定の評価を得ることができた。 地域の学習支援ボランティアのみなさんの高齢化に伴う新たな支援体制の整備が課題である。
健康づくり	【継続事業】 健康ウォーキング事業	近隣にある豊かな森の中に整備されている「森のさんぽ道」を、自然観察をしながら楽しくウォーキングを行った。		楽しみながらウォーキングができる内容として工夫を加えたところ、参加申込者が50人となりウォーキングの事業としては最高記録となった。
地域生活	【継続事業】 宮代町視察事業	山田地区が目指すまちづくりと共通点が多く、今後の山田地区の取組みにおいても参考になると思われる宮代町を視察した。		宮代町が行っている「農」のあるまちづくりの考え方の基本となるものが理解でき、今後の山田地区のまちづくりの参考となった。
地域生活	【継続事業】 れんげまつり	れんげの播種から開花までを地域住民や山田田園環境保全推進グループの協力を得ながら行い、地区住民の交流を深めた。	山田田園環境保全推進グループ	令和4年度からはストロベリーキャンドルのほか、ひまわり、キカラシ、ヘアリーベッチなどの種を播種し四季を通じて花が楽しめるようになった。
その他	【継続事業】 山田音頭事業	各地区の盆踊りや山田地区の地域の行事で踊れるよう、山田音頭のCDを各自治会、小中学校に配布した。	山田民謡クラブ	新たな音源を作成し、踊りの振付もできたので、山田民謡クラブの協力を得て、地域の行事等で踊りを披露してもらい、地域の人々に歌や踊りの振付を知ってもらうことができた。
健康・福祉	【新規事業】 地域福祉ボランティア育成	一人暮らしの高齢者や障がいのある方たちの見守り活動や地域住民同士の交流事業に参加したり、防犯パトロールなどに参加していただける地域ボランティアを育成するための講座を開催した。		高齢者にとって一番長く過ごす自宅を片付けて、快適に過ごすことの重要性について学ぶことができた。 福祉ボランティア育成事業は、定着するのに時間がかかるので、次年度以降も継続的な取組として、長期的な対応が必要。
歴史・文化・芸術	【継続事業】 伝統芸能鑑賞会	プロの民謡歌手であり三味線奏者である「おもだか秋子」氏を招へいし、1時間の生ライブを行い、ふだん聴くことのできない素晴らしい演奏を体感した。		約120名の観客が集まった。ふだん聴くことのできない迫力のある素晴らしい演奏に、再演を望む声が多数あった。
健康・福祉	【新規事業】 露ヶ関スポーツフェスティバル	子どもから高齢者まで地域住民の誰もが気軽にスポーツに親しむきっかけづくりと、健康の保持増進及びスポーツ実施率の向上を図ることを目的として開催した。	露ヶ関体育・文化振興会	子どもから高齢者の方までの100人の競技参加者が、ポッチャやストラックアウトなど気軽に親しむことのできるスポーツに楽しく参加していた。
地域交流	【継続事業】 川鶴地域交流「クリスマス会」	子どもから高齢の方まで楽しめる企画のもと、地域住民のふれあいの場と、世代間交流を実現するため開催した。	地区社会福祉協議会	マジックショーやコンサートのほか、サンタからのプレゼントなどクリスマスに相応しいメニューを多数用意し、子どもから高齢者まで会場が一体となって大いに盛り上がり、世代間交流を実現できた。
地域交流	【継続事業】 川鶴地域交流「春まつり」事業	桜の開花が見込まれる時期に開催し、子どもから高齢者まで楽しめる企画のもと、地域住民のふれあいの場、賑わいの創出を目指すとともに、世代を超えた交流を図った。	地区社会福祉協議会、川鶴市民センター	地域の方々約200名の参加を得て、賑やかに開催することができ、地域のふれあいの場の確保、世代間交流の推進という当初の目的を果たすことができた。今後の課題は、高齢化が進む中、スタッフの確保が難しくなってきたており、少ない人数でも実施できる体制、組織の検討が必要となる。
空き家対策	【新規事業】 空き家問題に関する講演会	地域課題の1つである空き家問題の講演会を開催し、空き家問題への認識と情報の共有を図った。		講演会の終了後、講演者と地域会議正副会長等の6名で、今後の取組などに関して意見交換も行うことができた。
地域交流	【継続事業】 大東ふれあい音楽祭&美術祭	大東地区内の小・中・高等学校の生徒、学童が音楽、美術の作品を通じて創造意欲の向上を図り親交を促すとともに、地域住民に次代を担う子どもたちの感性を直に感じてもらう機会を広く提供するため開催した。	地区文化振興会、子どもサポート委員会	子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまでいろいろな方が来館し多目的ホールがいっぱいになり、立ち見をしていただくほど地域が一体となれる事業となった。課題としては、教師の動き方改革などの影響もあり、学校との連携を図るための調整がさらに必要となる。
健康・福祉	【継続事業】 大東ふれあい卓球バレー教室	障害のある人もない人も共に楽しむことができるユニバーサルスポーツである卓球バレー教室の体験教室を開催した。	子どもサポート委員会、地区民生児童委員協議会	卓球バレーを通じ交流を図り、お互いを尊重し助け合う福祉の心を醸成し、「活き活きたまち大東」作りに資することができた。
地域交流 健康づくり	【継続事業】 健康推進事業	世代間交流の場を設けるため「地域ふれあいまつり」を実施し、その中で講師による指導のもとラジオ体操を行うことにより、健康意識を高めるとともに地域の交流を深めた。		地域の子どもから高齢者まで幅広い年齢の住民が、支会の枠を超えて一緒にラジオ体操の指導を受けることにより世代を超えたコミュニティも醸成された。
高齢者支援	【継続事業】 地域助け合い事業	一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増加している状況で、高齢者には大きな負担となっている家庭的軽作業を地域のボランティアにより支援した。	地区社会福祉協議会、民生児童委員サポート西小	業者に頼むほどでもない家周りの掃除や電球の交換などをボランティアの協力により実施し、高齢者の負担を軽減することができた。
地域交流 青少年育成	【継続事業】 夏休み自習室事業	小中学生に夏休みの宿題や2学期に向けての準備などを支援するとともに、学習支援者との3世代交流を図った。	老人会、育成会	地域内の子どもたちを地域内の人たちで支援することにより、夏休みの子どもたちの居場所づくりと世代間の交流を合わせて実現することができた。